



# 第10回

# おかやま環境教育

# ミーティング

SDGs のその先へ

～つながり、知り、見直し、考え、動く～

## 対象

環境教育に関心のある方  
どなたでも

## 定員

300名  
(先着順)

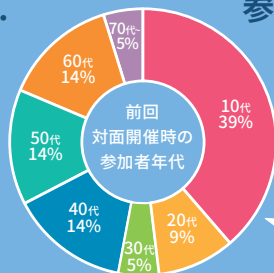
参加  
無料

2023年 **8月8日**[火]  
10:00～17:00(9:30開場)  
岡山コンベンションセンター  
〒700-0024 岡山市北区駅元町 14 番 1号  
(JR岡山駅中央改札口から徒歩約3分)

環境教育に関心のある学校、企業、行政、NPOや環境団体等の方、個人での参加もOK!!

## おかやま環境教育ミーティングでは…

お互いの活動や実践事例の紹介、テーマに応じた学び合い、想いの分かち合いをする場をご用意しております。交流するスタイルのミーティングを通して、環境教育に関わる人たちが知り合い、つながり、協働による環境教育の輪を広げるきっかけづくりを目指します。

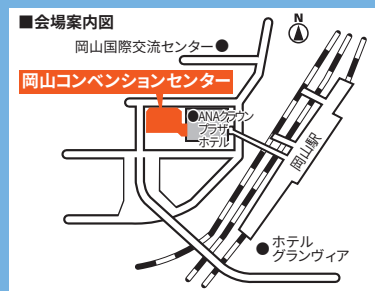


## 参加者の声

多くの人と意見交換・情報交換できました!

参加型で、いろいろ考える機会となり良かった。

色々な人と繋がることができた。新しい事業や活動に展開できそう。



## 参加申込はコチラから!

URL <https://www.kankyo.or.jp/news/detail.php?id=384>

※定員に限りがあるため、あらかじめ参加時間帯を終日及び午前・午後の区分から選択していただいております。右のQRコードより申込ページを開き、該当するリンク先よりお申込みください。

※学校等で取りまとめてご参加される方は、上記URL先にある【学校向けフォーム】からお申込みください。

※午後に参加される方は必ず分科会の希望をご記入ください。

※定員になり次第締め切りとさせていただきます。



## ■お申込み／お問い合わせ

公益財団法人岡山県環境保全事業団 環境創造部サステナビリティ推進課 (担当: 柏原・多田)

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1 TEL: 086-298-1239 / FAX: 086-298-2496 / E-mail: asueco@kankyo.or.jp

主催: おかやま環境教育ミーティング実行委員会、岡山県、(公財)岡山県環境保全事業団  
後援: 岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、山陽新聞社

裏面もご覧ください▶

# つながりの場 ブース展示

120分

環境教育実践事例、各団体等の学習プログラム・活動などを展示します。出展者の方と交流しながらご覧いただけます！



様々な活動を知る事ができます！



## ■出展団体(予定) ※6月時点、順不同 ※追加の出展相談は事務局までご連絡ください

岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイバ  
瀬戸内アクセサリー  
たましま 干潟と鳥の会  
公益財団法人おかやま環境ネットワーク  
一般社団法人チカク(子ども防災ネットワークおかやま)  
公益財団法人 水島地域環境再生財団「海ボウズプロジェクト」  
せとうち花俱樂部  
岡山県森林インストラクター会  
自然体験リーダーズクラブ  
IG岡山ランナーズ  
ふくしまボランティア岡山隊  
NPO法人 国際協力研究所・岡山(ICOI)  
西川・枝川用水をきれいにし隊  
釣り人みんなで、ごみ拾い  
認定NPO法人おかやまエネルギーの未来を考える会  
ブルーグリーンエナジー  
NPO法人エコネットワーク津山  
赤磐市野生動物植物調査会  
NPO法人グリーンパートナーおかやま  
矢掛町山の上干し柿祭り「雲の上カフェ」運営チーム

岡山ESD推進協議会  
環境省/中国四国環境事務所、中国環境パートナーシップオフィス、四国環境パートナーシップオフィス  
JICA中国

おかやまミツバチプロジェクト桃太郎ハニラボ(丸田産業株式会社)  
with FASHION co.  
岡山ガス株式会社  
藤クリーン株式会社  
株式会社サンキョウエンビックス  
明和製紙原料株式会社  
あさくち(さとしょう)de ecoの課!!  
グリーンコープ生協おかやま  
株式会社あかりカンパニー  
イオンリテール株式会社中国四国カンパニー  
株式会社the continue.

岡山大学環境部 ECOLO

岡山県立岡山東商業高等学校  
岡山県立玉野高等学校  
岡山県立水島工業高等学校  
岡山県立瀬戸南高等学校  
岡山県立倉敷鷺羽高等学校  
岡山県立水島工業高等学校(化学部)  
岡山高等学校コム作り×エンシカル消費プロジェクト  
岡山理科大学附属高等学校科学部  
岡山学芸館高等学校  
ノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高等学校  
金光学園中学・高等学校  
岡山大学教育学部附属中学校  
岡山市立操南中学校

48ブース!!



つながる! 話す!

10:00-10:30	10:30-12:30	12:30-13:30	13:30-15:00	15:00-15:15	16:40-17:00
オリエンテーション	ブース展示 3F コンベンションホール	昼休憩	分科会	移動・休憩	全体会 (ふりかえり、わかちあい) 1F イベントホール
プログラム	1F イベントホール				クロージング

全体コーディネーター：大森哉絵さん (NPO 法人だっぴ)

## 学び合いの場

### 分科会

90分

11個のテーマ毎にグループに分かれて共通の議題について楽しく語り合い深め合います♪



環境教育の目指すものについて語りましょう!  
自分ができる事はなんだろう?

**1 干潟って知ってる? ~意外と身近な希少生物の宝庫?!~**  
東川 光二郎氏(笠岡市立カブトガニ博物館)  
西井 弥生氏(たましま 干潟と鳥の会)  
干潟ってどんな場所か知っていますか?潮の満ち引きで現れ、川と海の間にある干潟には、独自の生態系と特別な役割があります。そんな干潟は意外と身近な場所にあり、そこには希少な生物も棲んでいます。生き物を通して干潟の現状について考えてみませんか?カブトガニ(剥製)にも触れますよ!

**2 チリメンモンスターから学ぼう! 里海・里山&SDGs**  
藤田 学氏(岡山県立玉野高等学校)  
岡山県牛窓近海で捕れたチリメンジャコの中に混ざっている、いろんな生き物を探してみよう。そして、食物連鎖や生態ピラミッドのこと、里海・里山の大切さについて学びましょう。最後に、玉野市で捕れた乾燥ウミホタルの発光実験もやってみよう。

**4 環境と健康と公害からwell-beingを考えよう**  
安井 豊氏(国際協力研究所・岡山(NPO ICOI))  
コーディネーター:林 美帆氏(みずしま財団)  
環境の問題と切り離せない健康や公害。「幸せに生きる(well-being)」こと、環境と健康の関係を考え、未来につなげる時間を作りたいと思います。環境問題は弱い人々への影響が大きく、公害や災害など幸せを大きく損なう要因になります。ワークショップでは幸せに生きることと環境をみんなで話し合います。師年齢測定のおまけつき!

**5 気候変動危機、あと7年がタイムリミット! 自然エネルギーで安全な未来を創ろう!!**  
エネミラユースチーム  
塚本 悠平氏(自然エネルギー財団研究員)  
若者たちが具体的なアクションを考える、若者たちによる分科会です。産業革命以降1.1°C上昇した世界の平均気温。これが、短期のうちに1.5°Cに達することが推定されている。1.5°Cを超えるとリスクがさらに増大し、影響を大きく受けるのはこれから生きる若者たち(私たち)。急速かつ大幅な対策を取るために当事者である私たちにできる具体的なアクションは何か。若者たちで考え、実践につなげたい!

**7 環境×国際協力×自分**  
JICA中国(講師:藤原 健史教授(岡山大学)ほか)  
ファシリテーター:長谷川 真紀氏(岡山県JICAデスク))  
「環境問題」「国際協力」「国際キャリア」「グローバル」これらの言葉に心が動いたみなさん! 世界の環境と私たちの暮らしはどのようにつながっているのでしょうか。そして、そのつながりをより良いものにするために、私たち一人ひとりに何ができるのでしょうか。環境分野での国際協力実践者と一緒に考えてみませんか?

**8 もしも自然災害が起きたらどうするか? 被災者のためにできることを考えよう。**  
石原 達也氏(災害支援ネットワークおかやま・事務局)  
岸 祐生氏(災害支援ネットワークおかやま・事務局)  
岡山でも大きな被害のあった平成30年7月豪雨は気候変動の影響による初めての災害ともいわれています。今年もすでに各地で線状降水帯が発生していますが、突然起こる災害で被災者となった方のためににがでできるのか。それぞれが支援の立場で出来る事を考えます。

**10 瀬戸内海で何が? ~魚を通して瀬戸内海を考える~**  
森下 倫年氏(おかと)  
コーディネーター:室 貴由輝氏(岡山県教育委員会)  
今、瀬戸内海の様子が変わってきています。以前と比べると獲れる魚の種類が変わってきています。獲れる量も減りました。瀬戸内海ではいったい何が起きているのでしょうか。魚を通して瀬戸内海について考えてみましょう。

**11 環境教育... これまでの10年 これからの10年**  
中平 徹也氏(環境学習アドバイザー)友延 栄一氏(岡山市職員)  
湯場 俊一氏(明和製紙原料株式会社)  
おかやま環境教育ミーティングが始まって今年で10年。環境教育のこれまでを振り返り、これからの10年に向けてどのようなアプローチが必要か。第一線で活躍してきた講師たちと一緒に考えましょう。

## 「かんきょうひろば」とは

岡山県では、より良い環境に恵まれた持続可能な社会の実現に向けて、県民一人ひとりが環境に関心を持ち、環境の重要性を理解し、環境保全に取り組む意識を高めるため、環境保全活動に取り組む団体等から広く情報収集し、総合的かつ効果的な環境学習をNPOなど環境団体等と協働により推進することを目的として、環境学習協働推進広場(かんきょうひろば)を設置しています。

※本事業は、廃棄物の抑制やリサイクルの推進を目的に産業廃棄物の処分量に応じて事業者から納税いただいた産業廃棄物処理税を財源として実施しています。